

北海道浮魚ニュース

平成11（1999）年度21号（通巻 No.67）

1999年10月4日

| | | |
|-------------|--------------------|--------------------|
| 北海道立中央水産試験場 | Tel : 0135-23-8707 | Fax : 0135-23-8709 |
| 釧路水産試験場 | Tel : 0154-23-6221 | Fax : 0154-23-6225 |
| 函館水産試験場 | Tel : 0138-57-5998 | Fax : 0138-57-5991 |
| 稚内水産試験場 | Tel : 0162-32-7177 | Fax : 0162-32-7171 |
| 網走水産試験場 | Tel : 0152-43-4591 | Fax : 0152-43-4593 |

オホーツク海サンマ初漁期調査結果

- 台風18号通過後，表面水温は急激に低下。
- ほとんどの目視調査地点でサンマ確認。
- 魚体は中・小型魚主体で，一部大型魚も混ざる。

1999年9月27日～10月1日の間に行われていた，稚内水産試験場試験調査船北洋丸による，オホーツク海わが国200海里水域内におけるサンマ初漁期調査が終了しましたので，お知らせいたします。結果の概要は以下のとおりです。

1. 調査海域における表面水温は9～19℃台で，宗谷海峡周辺及びごく沿岸域を除くと，11～13℃台の水温が広く覆っていました。台風18号の通過によって海水が攪拌され，これまで高温傾向であった表面水温は一気に低下したようです（図1）。
2. 夜間，停船・点灯しての目視調査では，ほとんどの目視調査地点でサンマが確認されました（図2）。数地点で，漁獲の対象となる密度の魚群が認められましたが，それら以外の地点では，目視された個体数は，各調査地点とも数尾～数百尾程度でした。
3. 目視された魚体はほとんどが体長20～30cm前後のもので，漁獲対象サイズの個体でした（図2）。
4. いずれの地点においても，目視されたサンマの灯付きは，あまり良くありませんでした。
5. 5調査地点で流し網（刺網）による漁獲調査を行い（図2），反当たり18～289尾の漁獲がありました（図3）。
6. 流し網による漁獲物の他，たも網による漁獲物を含め，漁獲されたサンマは中・小型魚主体でしたが，一部大型魚も含まれていました（図3）。
7. 船上測定のため，体重は計量していませんが，魚体はやややせていました。
8. 前回行った漁期前調査（1999年9月6～9日）で多く確認されたカタクチイワシは，今回の調査では，いずれの海域でもほとんど見受けられませんでした。

この調査の他に，近日中に，雄武から網走にかけての距岸約25マイル以内の海域で，オホーツク海さんま漁業調整協議会によるサンマ先達船調査が行われる予定です。この先達船調査の結果も，調査が終了し次第「北海道浮魚ニュース」でお知らせする予定です。

（文責 網走水試資源管理部）

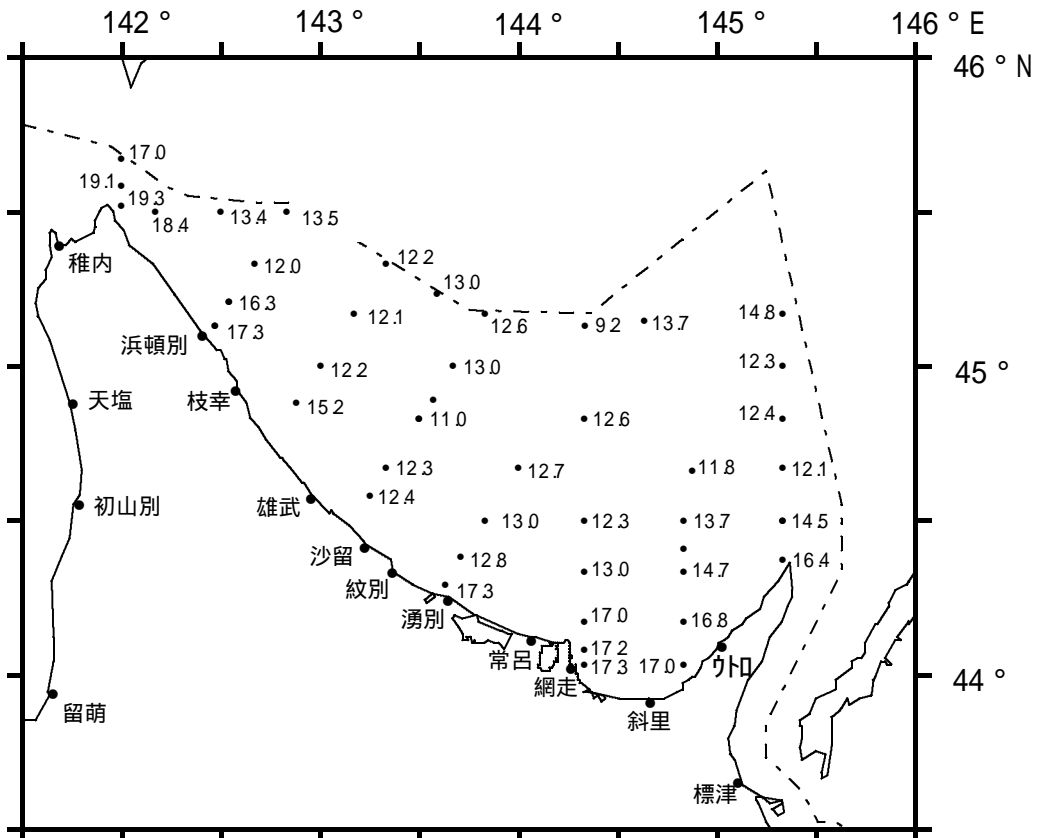


図1 北洋丸による初漁期調査時（1999年9月27日～10月1日）の表面水温

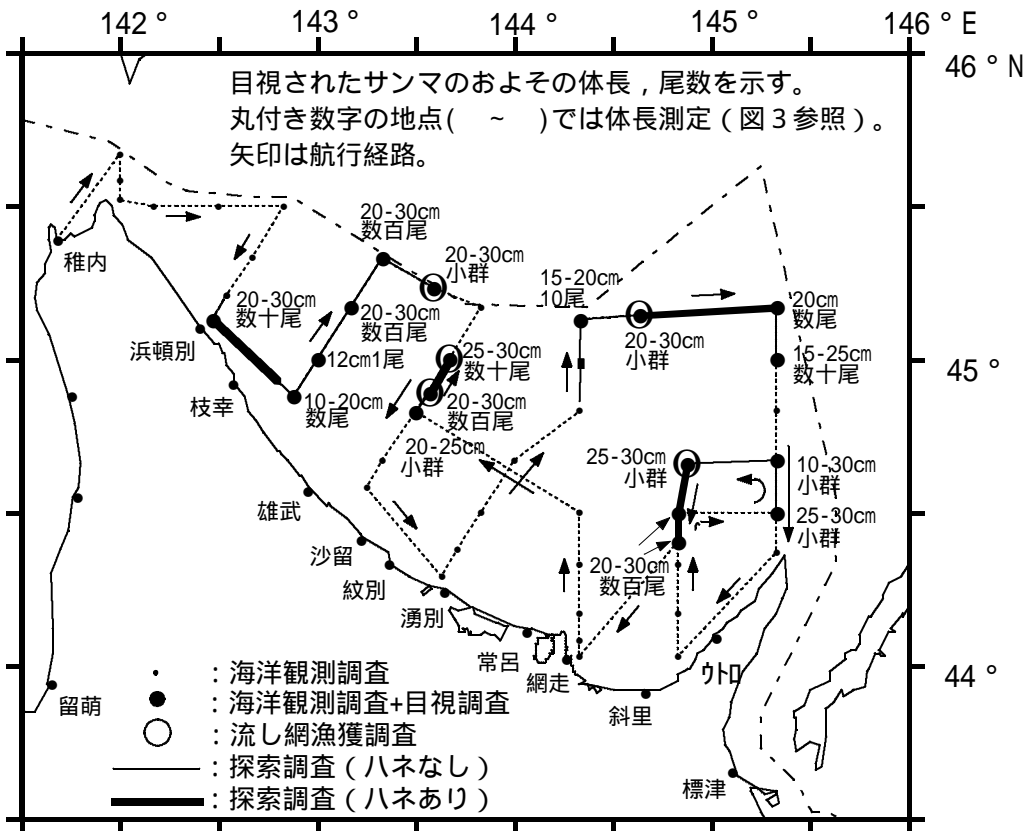


図2 北洋丸による初漁期調査時（1999年9月27日～10月1日）の探索・目視調査結果

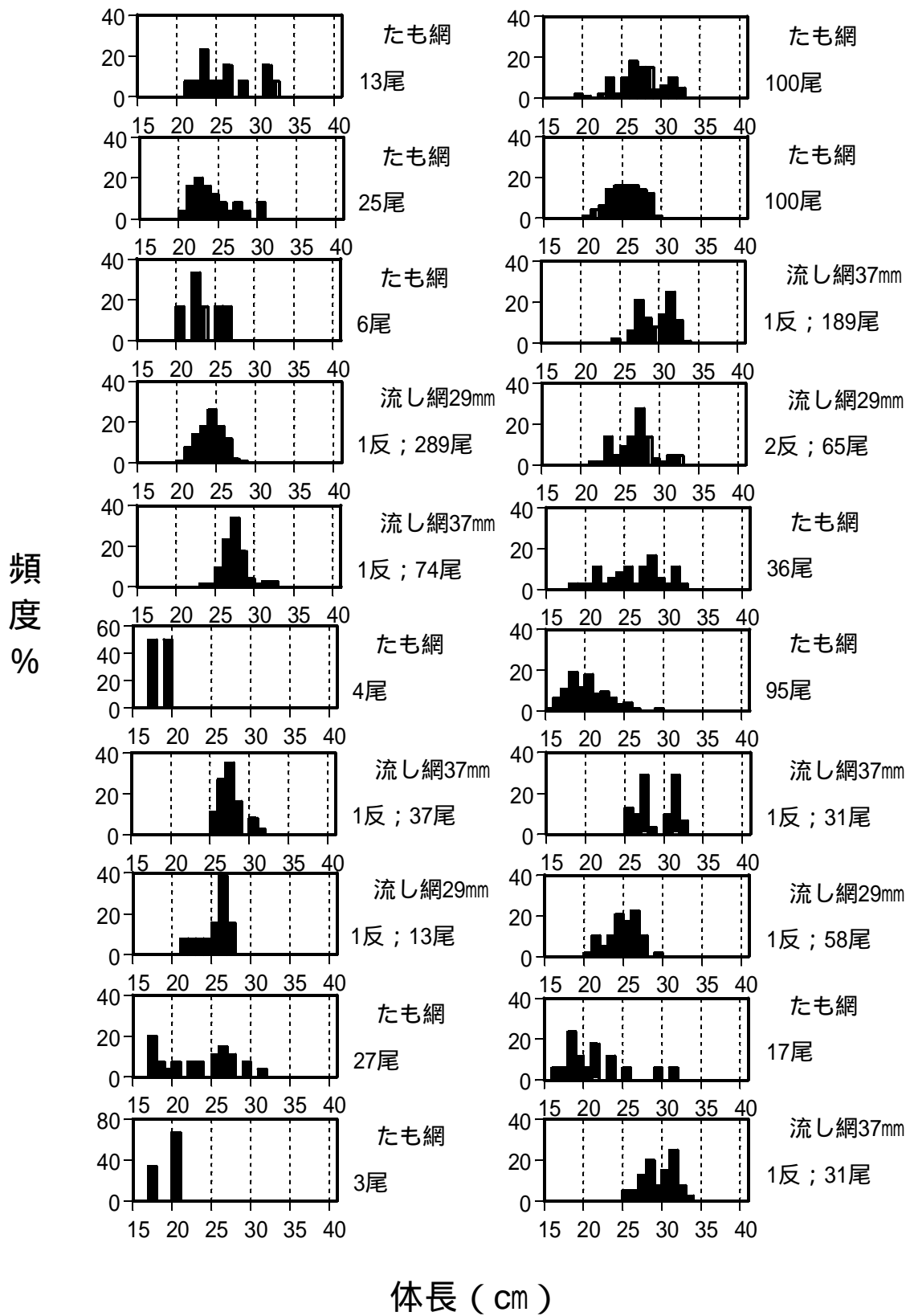


図3 北洋丸による初漁期調査時（1999年9月27日～10月1日）のサンマ漁獲物体長組成（体長15cm未満の個体は除く）